



# 旅をあきらめない。

介護・付添い旅行の「しゃらく旅倶楽部」

## 旅行事例紹介

## 認知症のお客様と里帰り



長野県の諏訪湖に行く予定だった。  
50 年ほど前の新婚旅行で 2 人が足を運んだ場所。  
その場所で、夫婦喧嘩をしたそうだ。

そんなエピソードも、今となればいい思い出。  
思い出の引き出しを開けに、また諏訪湖に行きたかった。  
しかし、その想いは実現しなかった。  
日程も決まり出発の直前、夫の体調不良による入院が決まったからだ。  
原因不明の食欲不振が続き、旅は延期となった。

しかし、決してあきらめていない旅。  
体調が回復してきたのを機に、故郷の佐用町に日帰りプチ旅行に出ることになった。  
病院に併設されている施設から中国自動車を通り佐用町へ。

本家へのご挨拶。久しぶりに会う親戚。

認知症だけに、解る時と解らない時もあったが、  
親戚との久しぶりの再会に、手をたたきながら喜ぶ姿も。

ホールの中でたった二人だけの贅沢な音楽鑑賞。

いつまでたっても、

夫婦の絆、夫婦の時間の大切さをお互いに実感されているということが、充分に伝わってきた。



出身地でもある佐用町のご当地グルメ、ホルモン焼きうどんも初めて口にし、ご機嫌になるお客様。



旅行に行ける。諏訪湖に行ける。そう感じた短い旅行になりました。

年が明け、雪解けの頃には、諏訪湖のほとりのホテルで、  
夫婦水入らずの時間を過ごすことがきっとできるでしょう。

その時に、また私がそばでお役に立てたらうれしいです。

# 【第1回目】宮城県南三陸町でのリフレッシュ旅行の報告

「仮設じゃこんなに大きな声で笑えないからなー」

2日目の夜、そう言って大きな声で笑ってく



ださるのは  
今回の最高  
齢御年 90  
歳の男性。

宮城県南三  
陸町の仮設

住宅に入っていらっしゃる方達で、お身体の事情などから気軽にお出かけをすることが困難な方を募集して催行したしゃらくの「心のみ旅」の第1回目に行ってきました。

第1回目は、お客様は7名の満員御礼。スタッフは、看護師1名(女性)、ヘルパー1名(女性)、運転手1名(男性)、現地で合流したスタッフが1名(男性)の計11名で行ってきました。

目指すは、山形県のかみのやま温泉。蔵王の麓にある風流な温泉街です。

ここで、日頃仮設住宅からなかなかお出かけのしにくい方達に一時のリフレッシュをしていただければとの思いから今回の企画を実施するに至りました。

皆様、最初にバスに乗り込んだ時から大盛り

上がり。たまたま他の参加者が中学校時代の同級生同士だったりなどの再会もありで終始バスの中は賑やかでした。1日は移動とゆったり温泉とお食事。2日目には、山形県天童市で書き駒とそば打ち体験をして3日目に無事南三陸町に帰って来ました。

お食事の際には、お歌の上手な方がマイク無しの手拍子アカペラで見事なお歌を披露して下さったりで大盛り上がりでした。そして最高齢Kさんの一言「仮設の中じゃこんなに大きな声で笑えないからなー」と。

最後に「忘れないから」と参加者の奥様に言っていたのはとても嬉しく。

帰りのバスでは、参加者のお一人が「また、1年後に同じメンバーで集まって思い出旅行したいねー!」「そうだね、代表の小倉さんをお願いしないと!」と皆さん。そういうことらしいです、ボス。



編集  
後記

第1回目の南三陸町の仮設住宅に入居されている方を対象としたリフレッシュ旅行の同行をしてきました。とても盛り上がり、ご参加の皆さんには満足いただけていたなら幸いです。震災後から大変な思いをされてこられた皆様が少しでもリフレッシュしていただければと思っの今回の旅行。道中「瓦礫のない景色を見るだけでも新鮮」とおっしゃる方がいました。そしてその言葉に他の皆さんもうなずいておられるのがとても印象的でした。(井上)



Non Profit Organization  
特定非営利活動法人

しゃらく

〒654-0071

神戸市須磨区須磨寺町 2-2-4

兵庫県知事登録旅行業 2-628 号 (社) 全国旅行業協会 正会員  
総合旅行業取扱管理者: 須貝 静

しゃらく

検索

<http://www.123kobe.com>



078-735-0163



078-735-0164

●メルマガの登録・解除はこちらからお願いいたします。(http://www.123kobe.com/magazine.html)